

9 月 度 例 会 個人 山 行 報 告 書		報告者	杉本 孝	参加 メンバー	CL: 亀山 誠 SL: 江頭 孝治 飯谷 洋子 杉本 孝 計 4 名
山 域	福井	山行日	08 年 09 月 27 日 (土) ~ 08 年 09 月 28 日 (日)		
山 名	経ヶ岳	山行目的	奥越 経ヶ岳の秋山を楽しむ		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者



コースタイム (天候: 天気図記号)	09/27 曇り 18:20 デンソ-本社 N1P 発 21:10 六呂師高原駅-場 着 (テ泊)	17:20 デンソ-本社 P 着 解散
	09/28 晴れ 06:00 起床 登山口移動 06:55 登山口発 07:30 一本 07:45 発 08:07 保月山 一本 08:12 発 08:50 釈氏ヶ岳 一本 09:00 発 09:25 切窓 09:56 経ヶ岳頂上 10:40 発 (下山) 12:00 一本 12:15 発 13:05 登山口着 帰路途中温泉立ち寄り	

山行報告 9月とはいえ、さすがに朝は冷える。冷えた体を解しながら、身支度を整え、車にて移動。林道を走ること 20 分、AM7:00 前には登山口に到着。 駐車場付近は良く整備されており、展望も良く、眼下に大野市が、その先、遠くにはうっすらと日本海が見える。20 分程登ると、辺りがブナ林になり、景観も良く、道も緩やかで登りやすくなる。この辺りから、ちらほらと岩場にリンドウが顔を覗かせ、登山者を和ませてくれる。登り始めて一時間程で保月山(1272m)に到着。ここからの眺望も良く、麓の町並みが一望できる。この先少し進むと、右手に切り立ったガレ場が現れ、樹木が殆ど無いので 1 歩踏み外せば、下までまっさかさまに落ちて行くであろう。慎重な行動が要求される。十メートルは続いているガレ場だが、これが長いと私は苦勞しそうだ。下を見まいと、真っ直ぐ前方を見てクリアー。保月山から 40 分、釈氏ヶ岳に到着。ここも眺めは素晴らしい。遙か南方に見えるのは、奥美濃の山々と思われる。ここから先は、稜線沿いに歩いて行くのだが、鞍部では、左右がかなり急である。この辺りは笹に覆われ、樹木は殆ど無い。切窓に近づくにつれ滑りやすく、注意が必要である。しかし、ロープが張られており、整備がされている事に感心するばかりだ。この稜線沿いは、釈氏ヶ岳~経ヶ岳まで、かなり挟られており、火口原になっている。秋が深まる頃には、きっと紅葉が綺麗であろう。切窓から頂上までは、かなりの急坂である。体力強化には、もってこいの上り坂ではないだろうか。登り始めて約 3 時間、経ヶ岳頂上(1625m)に到着。これまた展望が良く、東遠方に御嶽山が、すぐ北は白山、別山、西は

日本海と 360 度の大パノラマであった。この日は、天気も薄曇りで、風も穏やかで、最高の日であった。記念撮影をし、大パノラマを後に下山する頃には、頂上を目指す登山者が後を絶たなかった。登山口に着くと駐車場は満車で、路上駐車も目立ったぐらいだ。道も整備されている為、機会があれば、もう一度登りたい山であった。

リーダー所見 「新人の杉本です。日帰り登山の予定はありませんか? 靴とカップは購入したので前夜発でもかまいません。」 のメールをもらい、経ヶ岳登山を計画する。 呼びかけに江頭さんと飯谷さんが加わり、前夜のテントでの酒盛りと談笑。奥越の雄、経ヶ岳と山頂での眺望、加賀白山・野伏・荒島、そして奥美濃の山々、初秋の経ヶ岳を十分堪能できた。山と参加者に乾杯!



頂上にて記念撮影  
(後方左に白山・右に別山を望む)

確認  
(「カ、  
亀山  
08.10.07  
山  
作成  
(報告者)  
杉本  
09/19/06  
本